

空き家利活用



私の視点「なぜここを質問したか」

空き家は景観の悪化や防災・防犯上の危険性があるため、空き家対策のより一層の強化が重要である。

空き家対策と未利用地活用による今後のまちづくりの展開は

こが ひろ子 議員

答弁(町長) 立地適正化計画策定の中で検討する

録画配信は
こちらから▶



- 問** 本町の空き家の現状と課題は。
- 答** 環境課長
空き家の把握は、自治会からの情報提供、固定資産税情報や水道閉栓情報などを活用。令和7年度は現地調査を実施。7年度末の空き家数は372件で、令和6年度から約60件増加。空き家の状態を適切に把握し、状況に応じた対応を行う体制整備が課題である。
- 問** 空き家の発生を未然に防ぐためには、相続や財産管理の相談体制づくりが必要と考えるが。
- 答** 環境課長
相談を受けた際には、県の空き家活用サポートセンター「イエカツ」を案内している。空き家の売却だけでなく、高齢者の終活支援や相続に関することなど幅広い相談に応じている。
- 問** 空き家バンクや「イエカツ」などの専門機関と連携し、早い段階から住まいの将来を検討いただけるよう支援していく。
- 答** 環境課長
空き家バンクの上昇が発生した場合は、契約内容に従い、発注者と請負者の協議を通じて柔軟に対応する体制を整えている。現時点では、事業に影響が出ているという事案の報告はない。しかし、今後資材納期の遅延や高騰が予測される工事も少なくないため、計画や発注の段階で十分に考慮し、適正な対応に努める。
- 問** 隣接する大野城市では、指定ごみ袋の製造費不足が生じている。本町で同様の事態が起きた場合の対応は。
- 答** 環境課長
原油価格高騰などの影響で、ごみ袋単価は上昇しているが、当初予算の範囲内で契約を締結することができた。納品にも支障がないことを確認している。他自治体と同様の事態が発生した場合、補正予算で対応することになるが、ごみ袋価格は現在の価格を据え置くことになると考えている。
- 問** 緊急措置や対応策を定めておくべきでないかと考えるが。
- 答** 環境課長
社会情勢の変化などにより、指定ごみ袋の安定供給に支障が生じる可能性もある。品薄状態になり得る場合には、指定ごみ袋以外の市販のごみ袋で、対応する特別措置を講じることになる。
- 問** 現在、町は「ゼロカーボンシティ」を宣言している。これを機に、ゼロカーボン推進に向けた取組をさらに強化していくべきではないか。
- 答** 環境課長
町民には、家庭で実践できるCO2削減行動の推奨や、企業には脱炭素に関する情報周知などを行っている。4月からは食用廃油の回収も
- 問** 空き家の解体費用を補助する除却支援制度導入の考えは。
- 答** 環境課長
今年度、管理不全空き家等に関する調査などを実施し、方針整理を進めるなかで、空き家バンクによる利活用施策や管理不全空き家等への対策とのバランスを考慮しながら、制度導入の必要性を総合的に検証していく。
- 問** 移住・定住の促進、地域課題の解決や地域活性化につながる考えは。
- 答** 環境課長
県「空き家再生子育て応援事業」の活用に向け、協議を進めている。また空き家活用事例などの周知を行い、多様な利活用につなげるよう取り組みたい。
- 問** 未利用地を含めた土地活用、民間との連携による再開発など、適正に土地を利活用したまちづくりを進める考えは。
- 答** 都市整備課長
立地適正化計画の策定を進める中で、他自治体の事例も参考にしながら、制度活用の可能性を調査していく。



質問を終えて

地域の未利用地が、魅力的な住宅や商業施設、公共スペースに活用されることで、地域全体の活性化につながることを期待したい。

原油ナフサ不足



私の視点「なぜここを質問したか」

ホルムズ海峡封鎖に端を発し、全国的に原油・ナフサ不足の影響が出ている。ごみ袋の製造費値上げや欠品する自治体も出てきたが、本町の影響は。

原油・ナフサ不足が与える影響と今後の対策は

なるみ けいや 議員

答弁(町長) 現時点で特段影響はない

録画配信は
こちらから▶



- 問** 原油などの輸入減少に伴い、建設資材の不足が報告されているが、本町の事業に与える影響や今後の見通しは。
- 答** 管財課長
資材価格の上昇が発生した場合は、契約内容に従い、発注者と請負者の協議を通じて柔軟に対応する体制を整えている。現時点では、事業に影響が出ているという事案の報告はない。しかし、今後資材納期の遅延や高騰が予測される工事も少なくないため、計画や発注の段階で十分に考慮し、適正な対応に努める。
- 問** 隣接する大野城市では、指定ごみ袋の製造費不足が生じている。本町で同様の事態が起きた場合の対応は。
- 答** 環境課長
原油価格高騰などの影響で、ごみ袋単価は上昇しているが、当初予算の範囲内で契約を締結することができた。納品にも支障がないことを確認している。他自治体と同様の事態が発生した場合、補正予算で対応することになるが、ごみ袋価格は現在の価格を据え置くことになると考えている。
- 問** 緊急措置や対応策を定めておくべきでないかと考えるが。
- 答** 環境課長
社会情勢の変化などにより、指定ごみ袋の安定供給に支障が生じる可能性もある。品薄状態になり得る場合には、指定ごみ袋以外の市販のごみ袋で、対応する特別措置を講じることになる。
- 問** 現在、町は「ゼロカーボンシティ」を宣言している。これを機に、ゼロカーボン推進に向けた取組をさらに強化していくべきではないか。
- 答** 環境課長
町民には、家庭で実践できるCO2削減行動の推奨や、企業には脱炭素に関する情報周知などを行っている。4月からは食用廃油の回収も
- 問** 空き家の解体費用を補助する除却支援制度導入の考えは。
- 答** 環境課長
今年度、管理不全空き家等に関する調査などを実施し、方針整理を進めるなかで、空き家バンクによる利活用施策や管理不全空き家等への対策とのバランスを考慮しながら、制度導入の必要性を総合的に検証していく。
- 問** 移住・定住の促進、地域課題の解決や地域活性化につながる考えは。
- 答** 環境課長
県「空き家再生子育て応援事業」の活用に向け、協議を進めている。また空き家活用事例などの周知を行い、多様な利活用につなげるよう取り組みたい。
- 問** 未利用地を含めた土地活用、民間との連携による再開発など、適正に土地を利活用したまちづくりを進める考えは。
- 答** 都市整備課長
立地適正化計画の策定を進める中で、他自治体の事例も参考にしながら、制度活用の可能性を調査していく。



本町のごみ袋は必要枚数を確保できている

質問を終えて

今回の原油危機を通じて従来のライフスタイルを改めて、省エネ、自然エネルギー活用に舵を切る時期に来ていると感じている。

開始しており、バイオ燃料などに再利用される。ごみの分別では、町民の理解と協力により分別が定着したことで、可燃ごみの収集量が減少傾向にあり、循環型社会構築への成果もみられている。今後も省エネルギー行動や、資源循環についての普及啓発を進めていかながら、脱炭素社会、循環型社会構築への取組を一層推進していきたい。